

大阪府の景観形成のあり方（中間とりまとめタタキ台）

都市景観ビジョン・大阪



はじめに

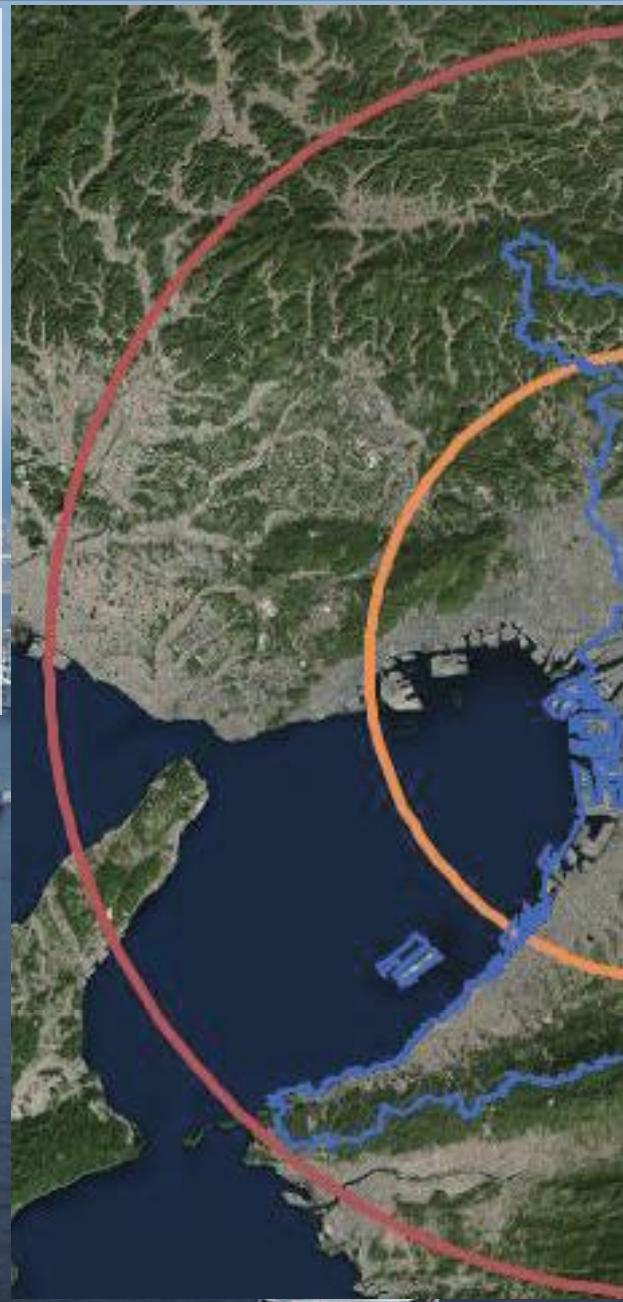
※晴天時に撮影し写真は差し替え予定

「大阪の景観とは」

大阪府は3方を山に囲まれ、西には大阪湾を中心とした自然が身近に感じられる地形の中で、都心部を中心として放射状に市街地化が進み、近畿圏の中心として経済発展してきました。また、近隣府県へのアクセスもよく、京都、神戸、奈良を一望できる場所もある恵まれた環境にあります。

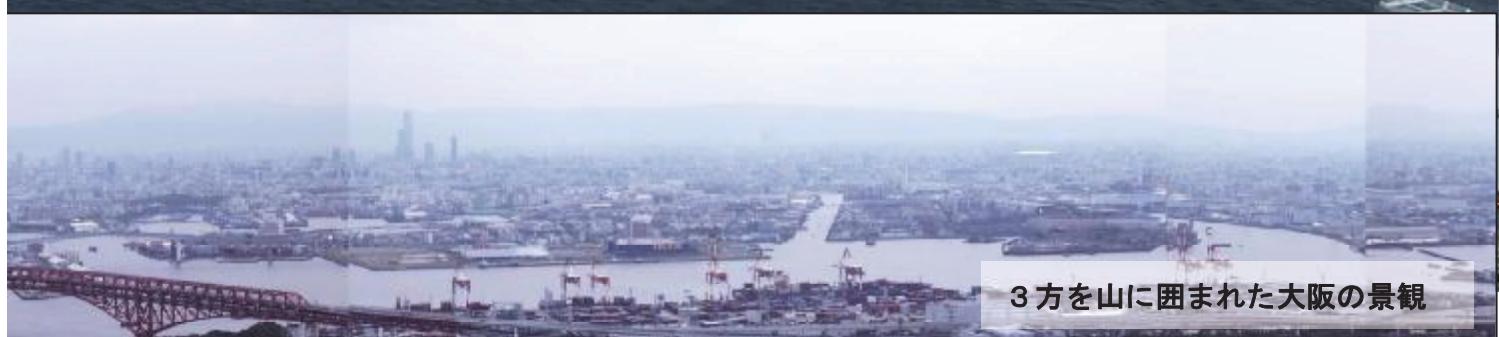
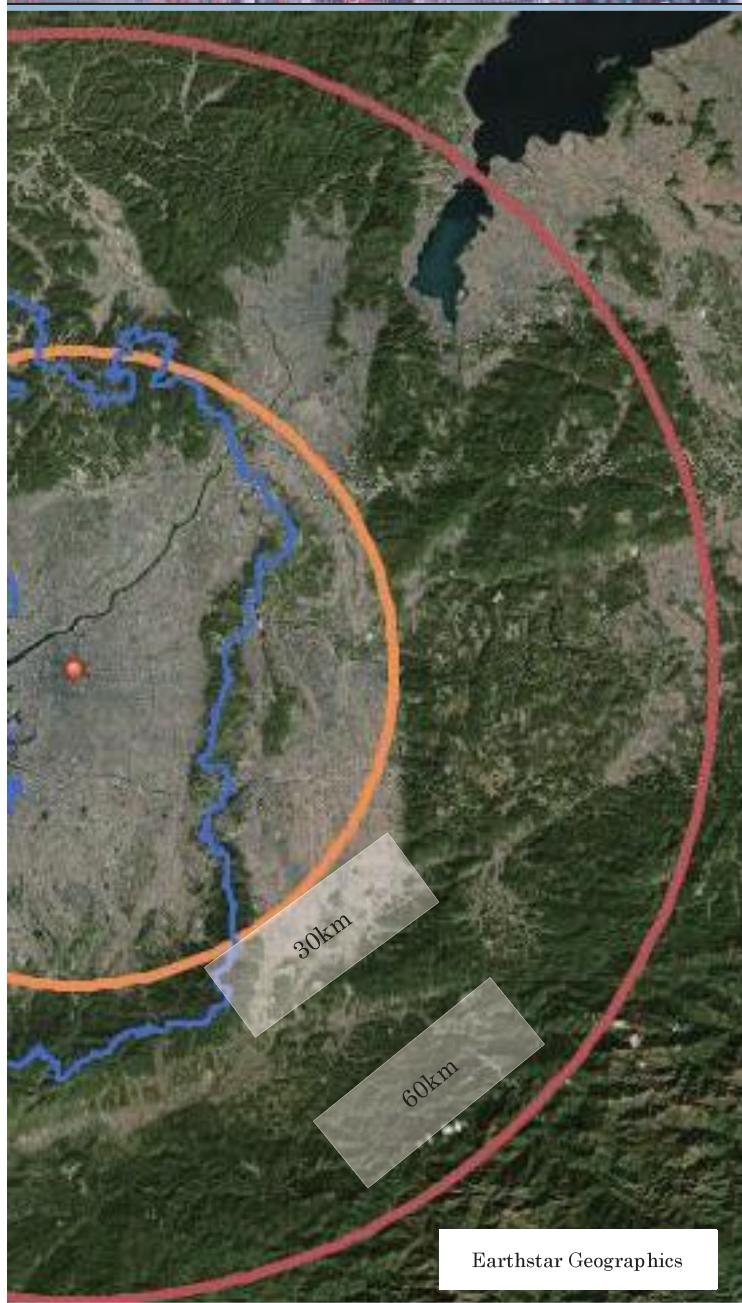
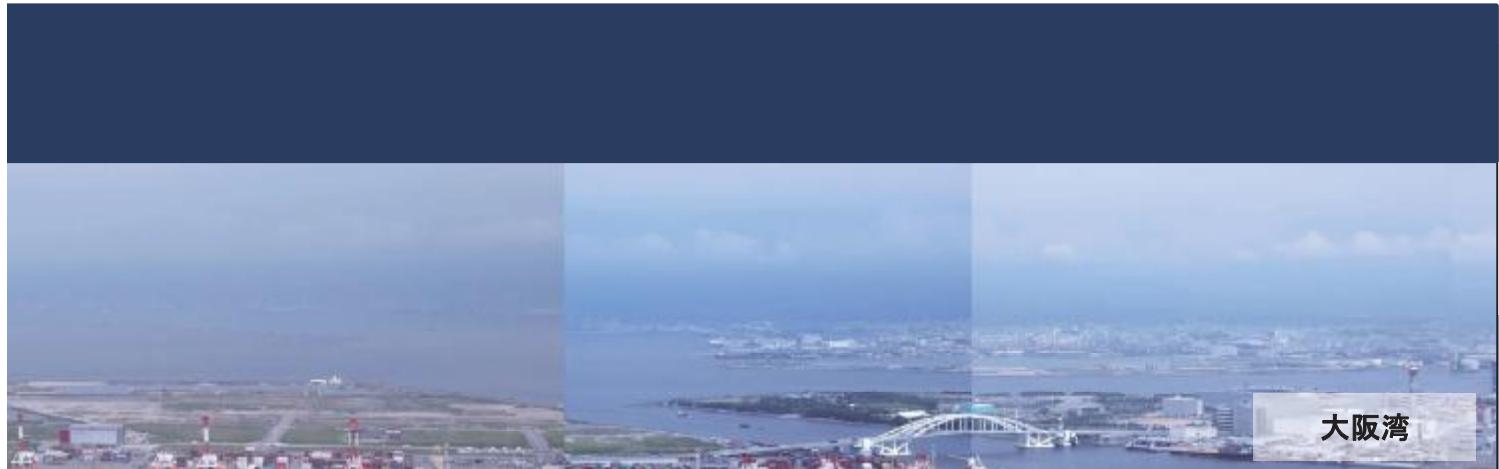
大阪の景観は、都心部の大都市景観のみならず、少し離れた郊外地域の田園風景までも併せ持つ非常に多彩な魅力であふれたものとなっています。また、古代の歴史資源から近代的な景観資源など多種多様なものが積み重なりあうコラージュ都市としての景観を形成しています。

大阪には鳥の目から見る広域的な景観資源から虫の目から見る地域の身近な景観資源まで様々な景観資源であふれています。



※晴天時に撮影し写真は差し替え予定

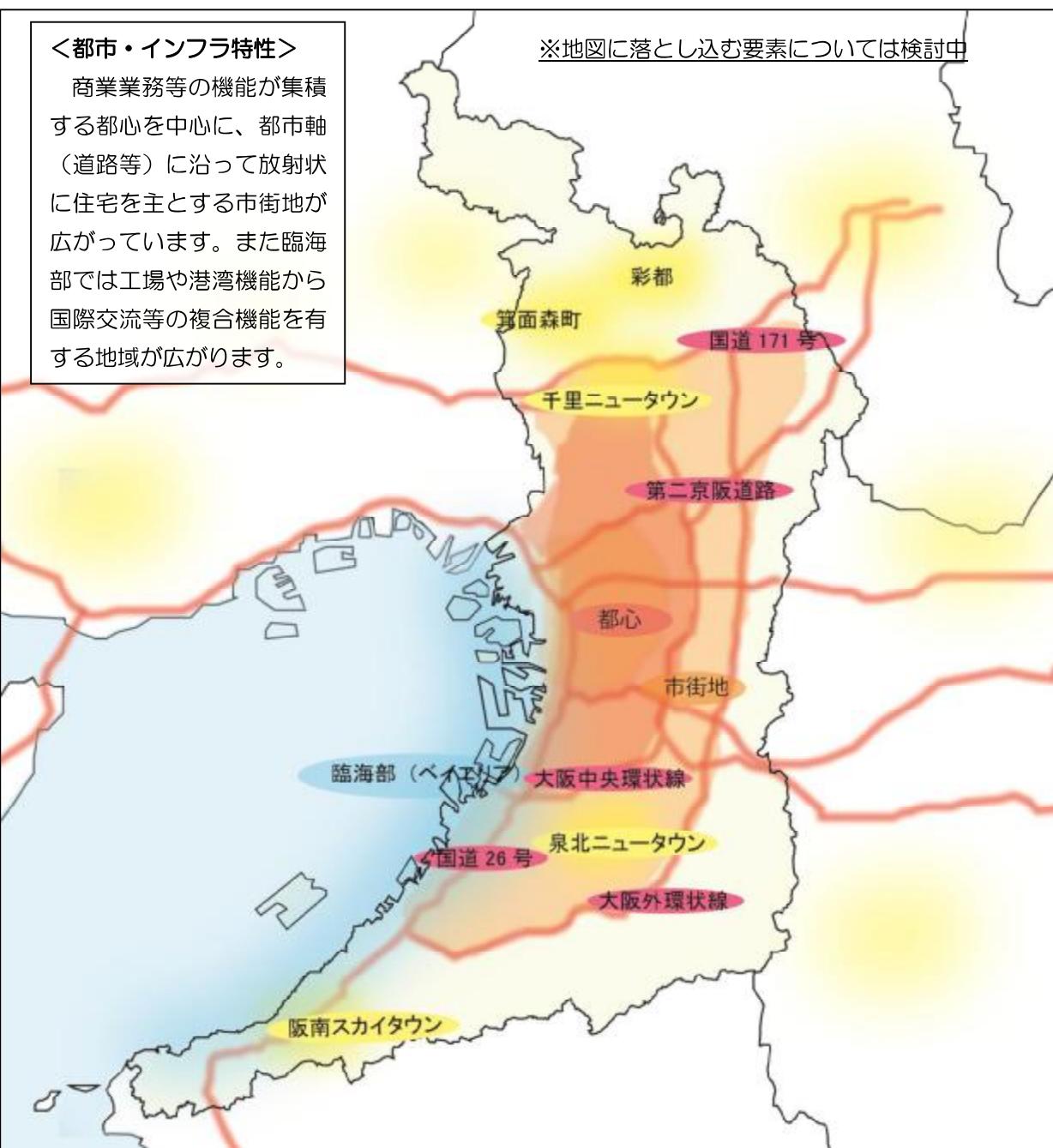




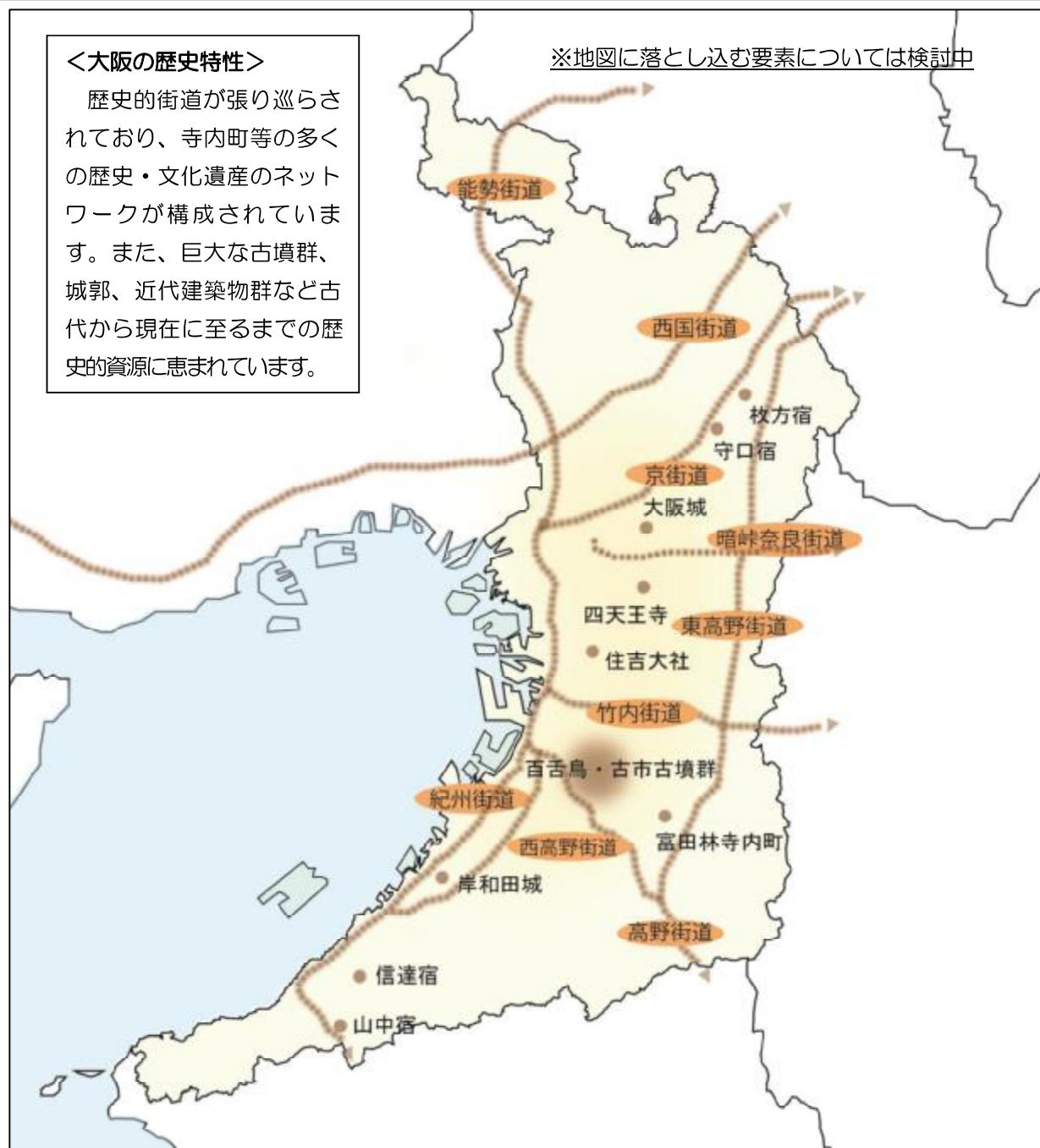
大阪の景観特性（自然的特性）



大阪の景観特性（都市・インフラ特性）



大阪の景観特性（歴史的特性）



大阪の景観上重要な要素

※表の要素については検討中

	自然的特性		都市・インフラ的特性		歴史的特性
	水	緑	インフラ	建築	
大景観 鳥の目の景観  小景観 虫の目の景観	<input type="checkbox"/> 海岸、大河川 • 大阪湾 • 淀川 • 大和川 <input type="checkbox"/> 中小河川 • 大川 • 道頓堀川 <input type="checkbox"/> 滝、池 • 箕面の滝 • 摂津峡 • 狹山池	<input type="checkbox"/> 山並み • 北摂山系 • 生駒山系 • 金剛・和泉成山系 <input type="checkbox"/> 大規模公園 • 万博公園 • 久宝寺緑地 • 大泉緑地 <input type="checkbox"/> 古樹、銘木 棚田、農地 • 下赤阪の棚田 • 萱島駅の大楠	<input type="checkbox"/> 広域幹線道路 • 国道 26 号 • 中央環状道路 • 鉄軌道 <input type="checkbox"/> ダム • 安威川ダム <input type="checkbox"/> 港湾、空港 • 関西空港 • 大阪南港 • 阪南港 <input type="checkbox"/> 駅、橋梁 • 大阪駅 • 淀屋橋 • 港大橋	<input type="checkbox"/> 超高層ビル群 • うめきた <input type="checkbox"/> ニュータウン • 泉北 N T • 箕面森町 • 彩都 <input type="checkbox"/> 大規模建築物 • 咲洲庁舎 • あべのハルカス • 梅田スカイビル	<input type="checkbox"/> 歴史街道 • 西国街道 • 京街道 • 竹内街道 <input type="checkbox"/> 古墳群、寺内町 • 百舌鳥・古市古墳群 • 富田林寺内町 • 枚方宿 <input type="checkbox"/> 城郭、寺社仏閣 • 大阪城 • 住吉大社 • 四天王寺

■大景観（鳥の目の景観）とは

- ・大阪を形づくる自然の地形など、大阪の景観の骨格となるもの
- ・府域を超えるなど、複数の行政区画にまたがる連続性のある眺望の対象となるもの

■小景観（虫の目の景観）とは

- ・地域の歴史、自然、文化等と一体となった人々に親しまれるようなもの
- ・周囲の景観に大きな影響を与えるような拠点としての景観を特徴づけるもの

都市景観ビジョン・大阪 策定にあたって

- グランドデザイン・大阪、グランドデザイン・大阪都市圏においては、「圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造」を基本目標としており、その中で、みどりや水辺など、圧倒的な都市魅力と品格ある都市景観と、歴史・文化を身近に感じ、住み、働き、学び、学び、楽しめる都市を実現するとしている。
- 大阪・関西へ訪れる外国人観光客が年々増加しており、また、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録、2025日本万国博覧会やIR（統合型リゾート）の誘致を契機に、地域のストック・ポテンシャルを活かし、未来に向けた魅力ある景観づくりの絶好の機会となっている。
- 社会の成熟に伴い、近年、府民の景観に対する関心の高まりや意識の向上により、各地域で独自の景観形成の取り組みが見られるようになった。
- 地方分権による景観行政団体となる市町村が増加する中、市町村独自の景観形成が進む一方で、行政区域を越えた広域的な景観形成が問題となっている。
- 大阪府の景観特性を踏まえて、広域的な視点と地域的な視点からの景観形成の方向性を示すものとして、新たな都市景観ビジョン・大阪を策定する。

目指すべき大阪の景観について

<基本目標>

『 きらめく世界都市・大阪の実現 』

- 山並み、河川、海などの地形や歴史・文化を活かした都市空間の創造
- 水辺や縁に親しみ、地域の個性を活かした生活空間の創造
- みんなでつくる多彩な魅力と賑わいがあふれる、おもてなし空間の創造

基本方針

(1) 広域的な視点（大景観・鳥の目）で景観づくりに取り組みます！

府県を越える北摂、生駒、金剛・和泉葛城などの山並みや淀川や大和川といった河川、大阪湾、歴史街道、広域幹線道路、ニュータウンなどにおいては、大阪府が中心となって関係自治体と連携して守り、育て、活かし、愛する大阪の景観づくりを推進していきます。



河川における景観づくり



広域幹線道路における景観づくり



歴史街道における景観づくり

(2) 地域や身近な（小景観・虫の目）景観づくりに取り組みます！

川、公園、樹木、歴史的建造物などの地域の個性を活かし、人々の生活や文化活動に根ざした、人々が親しみやすく個性豊かな身近な景観づくりを市町村と連携して推進します。



公園等の地域の個性を活かした
景観づくり



歴史的建造物など
地域の個性を活かした景観づくり



人々の生活等に根ざした
景観づくり

(3) みんなで景観をつくり、守り、育て続けます！

大景観から小景観に至るまで、府民、民間事業者、来訪者、行政などの様々な主体が連携して景観まちづくりに取り組み、人々を惹きつけ、安全で魅力と賑わいのあるおもてなし空間を創造していきます。



景観まちづくりの
担い手の育成



様々な主体が一体となった
景観まちづくり



魅力と賑わいのある
おもてなし空間の創造

実現に向けた視点

1. 民間が主体的に景観まちづくり取り組み、積極的に投資できる環境をつくる

- 方針・計画の提示
- 規制改革・公的資産の民間開放
- 公民連携のプラットホームづくり

2. 公共事業の実施にあたっては地域の景観づくりの模範となるよう努める

- 公共建築物の高質化
- 都市インフラの高質化
- 公共事業における景観面でのPDCAサイクルの確立

3. 景観形成の担い手を育成し、大阪の魅力を創出し発掘する

- ビュースポット（視点場）の発掘と広報
- 市町村の景観行政団体化の促進
- 担い手の育成と景観まちづくりの継続

1. 民間が主体的に景観まちづくりに取り組み、積極的に投資できる環境をつくる

□方針・計画の提示

民間が投資しやすいよう、大阪府が中心となり関係自治体と連携して、広域的な景観まちづくりの方針・計画を提示します。

- ・歴史的な資源を活用した景観まちづくりの戦略
- ・みどりの創出を目指す戦略

□規制改革、公的資産の民間開放

景観まちづくりの障壁となっている規制については、規制改革を実施し、民間が主体的に景観まちづくりを実施できるような環境づくりを推進します。また、安全で良好な景観の形成のためのルールづくりについても取り組みます。

- ・まちづくり団体の認定、建築協定等と連動した規制改革（総合設計制度・屋外広告物条例など）
- ・河川、船着場、道路空間等の利活用の促進
- ・港湾における夜間景観を活用した賑わいの創出
- ・大規模開発における無電柱化の促進
- ・屋外広告物の安全強化

□公民連携のプラットホームづくり

行政、まちづくり団体が連携し、景観まちづくりを推進するための体制をつくります。

- ・歴史街道における広域連携のまちづくり

2. 公共事業の実施にあたっては地域の景観づくりの模範となるよう努める

□公共建築物の高質化

周辺景観を読み解き、地域の景観づくりの模範となるような公共建築物の設計に努めます。

- ・公共事業景観形成指針の見直し
- ・官公庁舎の建設時等、公共事業の実施に伴う無電柱化の促進

□都市インフラの高質化

地域の景観に与える影響が大きい都市インフラについて景観形成の手本となるように努めます。

- ・公共事業景観形成指針の見直し（再掲）
- ・都市インフラの建設時等、公共事業実施に伴う無電柱化の促進（再掲）
- ・景観法に基づく届出対象の見直し

□公共事業における景観面でのPDCAサイクルの確立

公共事業について、良好な景観の形成に寄与するものかを確認する仕組みをつくります。

- ・公共事業に対する景観評価制度の導入
- ・景観アドバイザー等の活用

3. 景観形成の担い手を育成し、大阪の魅力を創出、発掘する

□ピュースポット（視点場）の発掘と広報

地域の優れた景観資源を発掘し、魅力を活かして広報することで大阪の魅力を創出します。

- ・景観資源の発掘と効果的な広報の仕組みづくり
- ・景観サポーター制度の活用

□市町村の景観行政団体化の促進

地域に根ざした景観形成を進めるため、市町村の景観行政団体化への働きかけを行ないます。

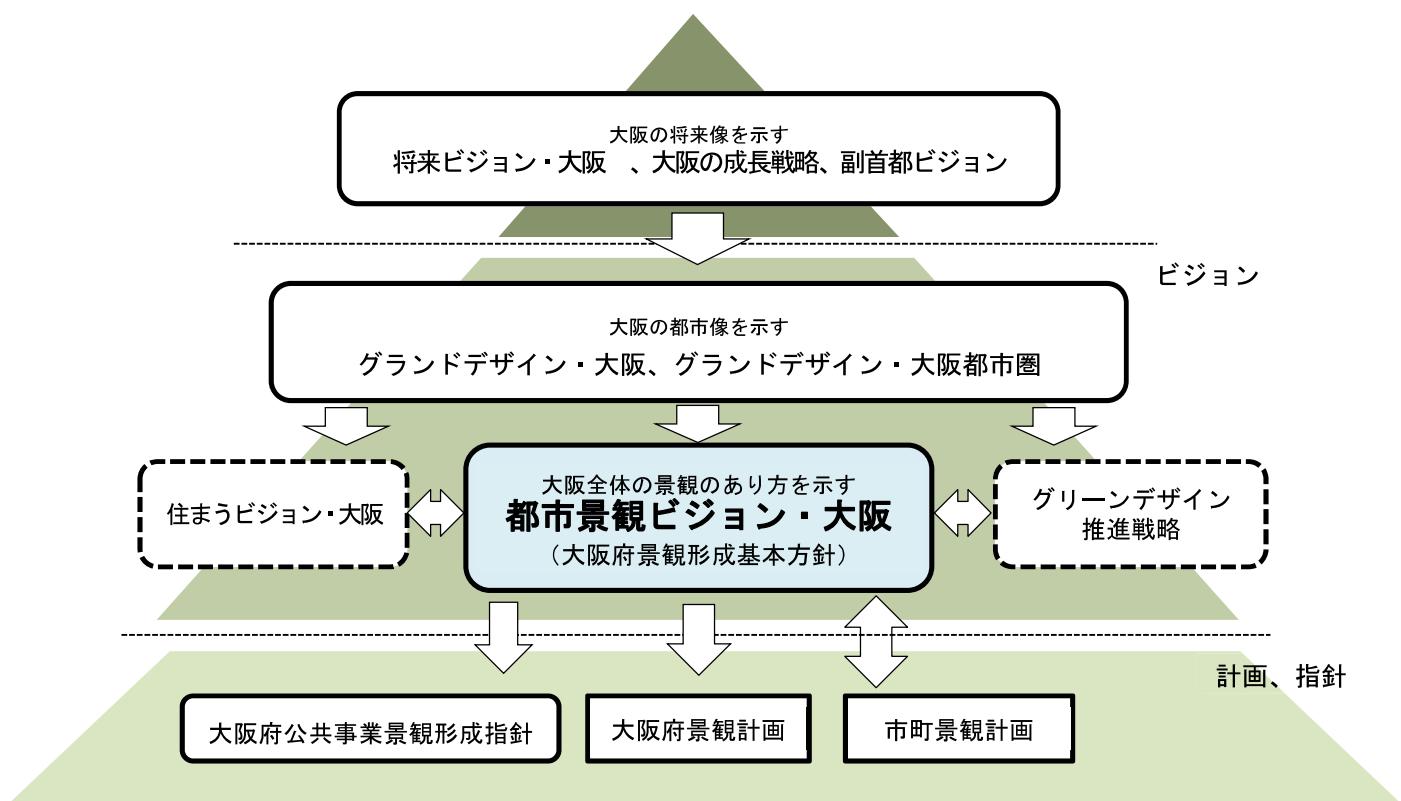
- ・市町村の景観行政団体化と景観まちづくりに携わる市町村職員の人材育成

□担い手の育成と景観まちづくりの継続

府民の景観まちづくりに対する意識啓発を通じて担い手を育成するとともに、地域が自立して継続的に景観まちづくりを実施できるように取り組みます。

- ・表彰制度（大阪都市景観建築賞）
- ・景観学習やイベントの実施
- ・景観形成の担い手のネットワークづくり
- ・アドプト制度による景観まちづくりの推進
- ・クラウドファンディング制度の活用
- ・公共、公的団体等による景観まちづくりの初動期支援

都市景観ビジョンの位置づけ



景観まちづくりの推進体制のイメージ

府、市町村、民間団体等との連携

府、市町村、民間団体等が一体となった推進体制を構築していきます。

公共団体

市町村

連携

大阪府

民間団体等

住民 来訪者

事業者 企業 etc.